

# 高大接続教育の実践的プロジェクト

－カリキュラム・トランジション・センターの構築と活用－

(実施期間:平成22年度～平成24年度)

## 高大接続教育の実践的プロジェクトについて

“高大接続教育”の必要性が認識され、全国の大学で取り組まれるようになって久しくなります。社会・教育環境などの多様化に伴い、近年その重要性はますます高まっています。本学でも1年生への初年次教育の重要性を認識し、高校教育から大学教育への円滑な導入・転換を図り、大学生としての学習方法の基本を身に付けることを目指しています。

この高校と大学の教育・学習上の接続を実質化、具体化するためには、高校と大学の教育現場の連携を一層推進する必要があると考え、平成22年度より「高大接続教育の実践的プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトでは、高校と大学の教育課程の接続性を高めるための教育実践研究を、高校教員と大学教員の協働により展開しています。特に、学生・生徒の「未修得」状況に焦点を当て、教員間の情報交換や新たなテキストの開発を通じ、初年次生が着実に大学での学修に取り組めるように支援するものです。

(なお、本プロジェクトは、平成22～23年度に文部科学省・大学教育推進プログラムの支援を受け、平成24年度からは秋田大学機能強化推進経費により取り組んでいる事業です。)

## 「CTC」とは？

高大接続教育の実践的プロジェクトの活動を支える機関が「カリキュラム・トランジション・センター」(略称:CTC)です。CTCは、大学と高校が協働して高大接続に取り組む場です。高大接続事業は教育推進総合センターとの連携のもと、高校教員と大学教員が協議しながら推進していきます。

## 取組の概要

CTCでは主として以下の事業を展開します。

### 1. 「高大接続テキスト等」の開発

大学初年次生が、高校までの授業内容のなかで「未修得」のままになっている部分の確認やその復習を自分で行えるように、高校での学習内容と大学で展開される学問のつながりを確認できる高大接続テキストを、高大教員が協働で編集します。平成23年度は理科3科目(物理、化学、生物)と英語の試行版を作成しました。

また同時に、テキストの内容を習得しているかどうかを確認できるように、テストや演習問題等も開発しています。

### 2. 「未修得」に対応するための学習環境の整備

大学初年次生が、自ら「未修得」状態を修復し、着実に専門課程に入っていけるように、理科3科目(物理、化学、生物)について、リメディアル教材を学べるeラーニング・システムを導入し、管理運営します。平成23年4月から解説編、平成23年11月からは問題演習編が稼働しています。また、教員だけでなく大学院生によるティーチング・アシスタントなども活用した「共同オフィスアワー」を運営します。

### 3. 高大教員による教育実践研究

「高大接続教育の実践的プロジェクト」の一環として、秋田県教育庁の協力のもと大学教員による高校の研究授業への参加や、高校教員による本学での大学授業の参観を行います。また、高大接続テキストを活用した高校生への高大接続授業を行います。

その他、高大接続に関わる資料の収集とデータベース化やホームページの運営などを行います。

## 平成23年度の活動実績

- 新入生への学修履歴に関するアンケート調査の実施
- 「共同オフィスアワー」の実施(物理、化学、数学)
- リメディアル学習のためのeラーニングシステムの稼働(物理、化学、生物)
- 高大接続教育講演会「初年次教育を考える」の開催
- 高大合同による高大接続テキスト等編集委員会の開催
- 高校教諭による大学授業の参観(英語)
- 秋田大学オープンキャンパスへの参加(eラーニングによるリメディアル教材の紹介)
- 中高学習指導研究協議会(秋田県教育庁主催)等への参加
- 高大接続テキスト(試行版)の作成(物理、化学、生物、英語)
- 高大接続テキストを活用した高大接続授業の実施



高大接続テキスト等編集委員会の様子(平成23年7月)



高大接続テキストを活用した県内高校への出前授業(平成24年3月)